

<メノッティ作曲 オペラ『電話』(日本語版)>

☆アメリカの良き時代、ルーシーのアパートにボーイフレンドのベンが訪れ、あと1時間で旅行へ行かなくてはならないのだが、その前にどうしてもルーシーに話したいことがあると言います。ベンが話の前置きをしていると、いつも電話がなります。ベンはなかなか言い出せなくて、いらいらします。ようやく長電話が終わって、ベンが話を戻そうとしますが、また電話がなります。さてルーシーはベンのお話を聞くことができるのでしょうか。



演出家 中村敬一      ピアノ・音楽監督 服部容子      ルーシー 針生美智子      ルーシー 津山恵      ベン 岡元敦司

<オペラ ガラ・コンサート>

☆ウェーバー作曲 オペラ『魔弾の射手』、17世紀中頃ボヘミア地方の森の中、森林官の娘アガーテの恋人、狩人マックスは領主主催の射撃大会で優勝しなければアガーテとの結婚を許されません。そこでマックスは同僚カスパーから悪魔に魂を売って手に入れる「魔弾」を使うようにそそのかされます。撃てば百発百中。しかし、最後の一発は悪魔が決めた的に当たるといふ呪われた弾です。この場面は不吉な予感に襲われているアガーテと心配するいとこのエンヒェンが二重唱、そしてアリアをそれぞれ歌います。

☆ヴェルディ作曲 オペラ『シモン・ボッカネグラ』、14世紀半ば、ジェノヴァ共和国では貴族と平民が対立、貴族フィエスコの娘マリアが平民派シモンと恋仲になり子を授かったことを知り、娘を幽閉したことから始まります。それから25年後、グリマルディ伯爵家の令嬢アメリアは総督になったシモンに身の上話を語りますが、やがて、アメリアこそずっと捜し求めていた娘だと知り、親子の感動の対面となります。この二重唱はシモンとアメリアによる美しい二重唱です。

☆モーツァルト作曲 オペラ『イドメネオ』の舞台はトロイア戦争後のクレタ島。クレタ王イドメネオの息子イダマンテは、囚われの身となっているトロイア王女イリアを密かに愛しています。一方、父イドメネオはクレタに戻る途中嵐にあって遭難してしまいますが、海神ネプチューンと「陸に上がって最初に出会った人物を生け贄に捧げる」という契約を交わして救われます。そんなイドメネオが上陸して初めて会ったのは、なんと息子のイダマンテでした。イリアがイダマンテを愛していることを知り悩みは深まるばかり。この場面ではイダマンテのアリア(第二幕)、そしてイリアとの愛の二重唱(第三幕)を歌います

☆ブッチーニ作曲 オペラ『ラ・ボエーム』、場所はパリ、冬の厳しい中、マルチェッロとムゼッタが働く酒場に、ミミが訪れます。ミミはマルチェッロに、自分の恋人ロドルフォが最近冷たいことを相談してきたのです。しかしミミは結核を患っていました、何もできない貧しいロドルフォは彼女を想い、二人は愛を確かめ合いながらも、お互いのために別れる決心をしました。一方のマルチェッロも浮気の多いムゼッタと口論になり喧嘩して、別れてしまいます。鬼ブッチーニのボヘミアンたちの愛を描いた四重唱です。



ソプラノ; 川島沙耶      ソプラノ; 後藤ちしを      ソプラノ; 前田奈央子      ソプラノ; 成田恵

<予定プログラム>

- オペラ『魔弾の射手』より  
第二幕二重唱とアリア
- オペラ『シモン・ボッカネグラ』より  
第一幕二重唱
- オペラ『イドメネオ』より  
第三幕二重唱とアリア
- オペラ『ラ・ボエーム』より  
第三幕四重唱



テノール; 安田哲平      テノール; 上平臣悟      バリトン; 下司貴大      バリトン; 川上伸一

演出 中村敬一

ピアノ・音楽監督 服部容子

稽古ピアニスト 奥出かおり 佐藤望央

舞台スタッフ ミトプロムシカ音楽企画

制作 ミトプロムシカ

字幕 ローザアズラ

協力 ザ・ルーテルホール

ヴォスマーナ・オペラ実行委員会